

草加市 谷塚小学校通り

令和8年3月

ストリートデザインノート



目次

「ストリートデザインノート」について	02
1 これまでの取り組みについて	03
2 谷塚小学校通りの状況について	05
3 ストリートデザインノートの策定	07
4 ストリートデザインのコンセプトと施策	11
ポイント 1 安全	12
ポイント 2 賑わい	13
ポイント 3 憩い	14
ポイント 4 回遊性	15
ポイント 5 景観	16
5 ストリートデザインのアイデア	17
6 未来スケッチ	18
7 ストリートデザインを考慮した指針	19
8 ストリートデザインノートの活用と効果	21

「ストリートデザインノート」について

草加市では、谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会から提案された、谷塚駅西口地区まちづくり整備計画における、駅前からの段階整備を早期に実現するため、令和5年度に「谷塚駅西口地区まちづくり基本構想」、令和6年度に「谷塚駅西口地区まちづくり基本計画」を策定しました。

「ストリートデザインノート」は、基本計画での位置付けに基づき谷塚小学校通りの既存の商店街を活かした土地利用を図るとともに、安全安心に歩行できる通りのデザインや利活用について、また、今後もまちの未来像について意思共有できる指針とします。

地域住民・行政・事業者など谷塚小学校通りに関わる全ての人々が将来の姿を共有することで、魅力的で安全な空間となることを目指します。

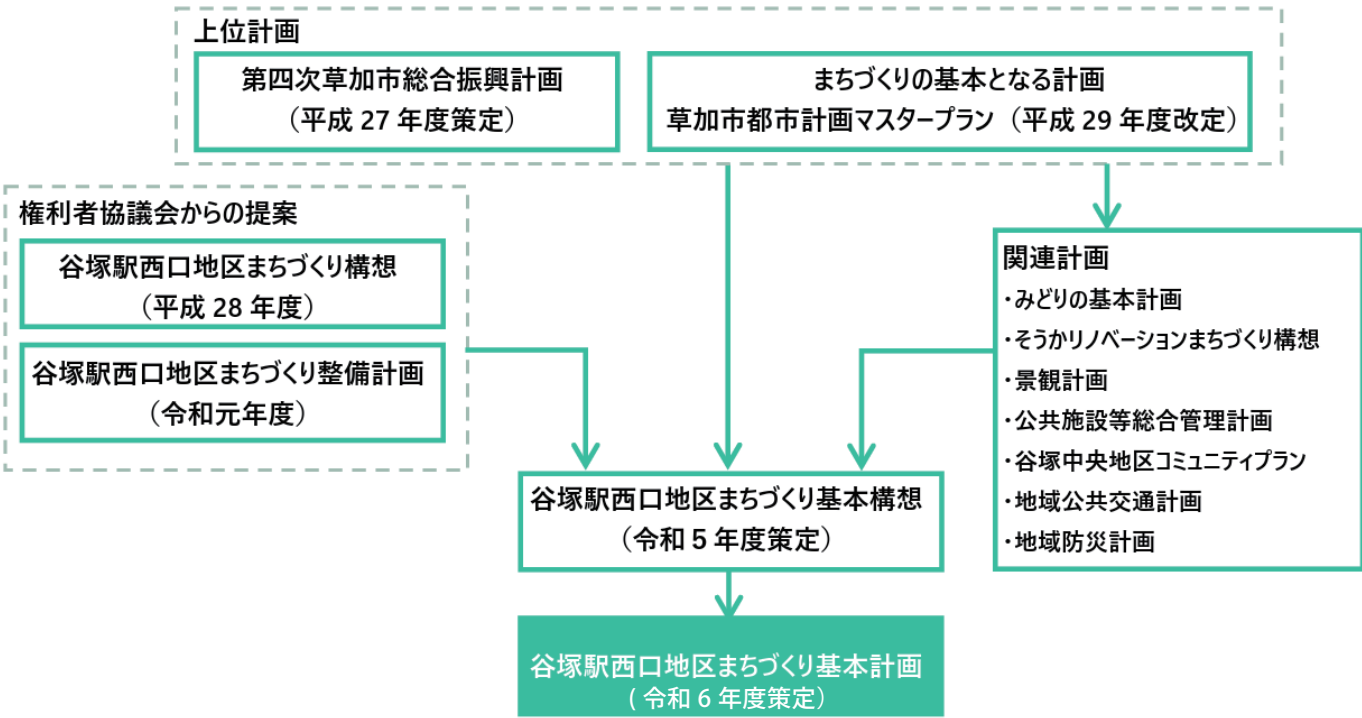


1 これまでの取り組みについて

谷塚駅西口地区まちづくり基本計画の策定

谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会（以下「権利者協議会」という。）から草加市に提案のあった谷塚駅西口地区まちづくり構想及び谷塚駅西口地区まちづくり整備計画や、草加市都市計画マスタープランをはじめとするその他上位関連計画における位置づけ等を踏まえて、谷塚駅西口地区を中心とした都市拠点の形成に必要なまちづくりの基本計画を定めました。

計画の位置付け 谷塚駅西口地区まちづくり基本計画より



まちづくりの目標

「誰もが思い思いに過ごせる、安全安心で未来に誇れるまち」



思い思いの時間を過ごせる



個性豊かなお店や地域の人の顔を感じる

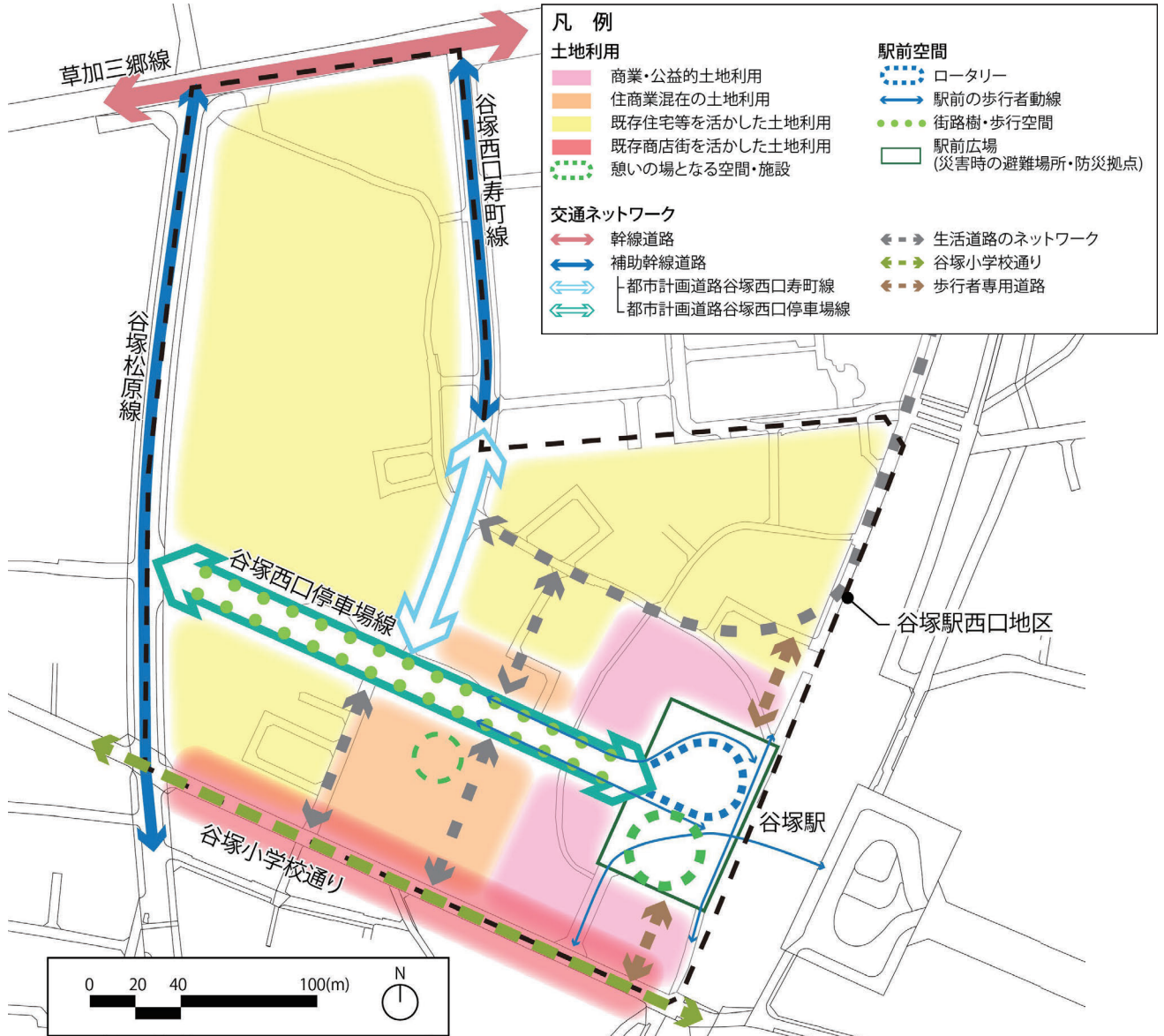


災害に強いまち

整備方針の総括図

谷塚駅西口地区まちづくり基本計画より

地区全体の将来的な整備・土地利用の方針を次の通り整理します。



谷塚小学校通りについて

既存の商店街を活かした土地利用を図るとともに、安全安心に歩行できる空間形成を図るため、自動車の速度抑制につながる舗装の修景等の方策を検討します。

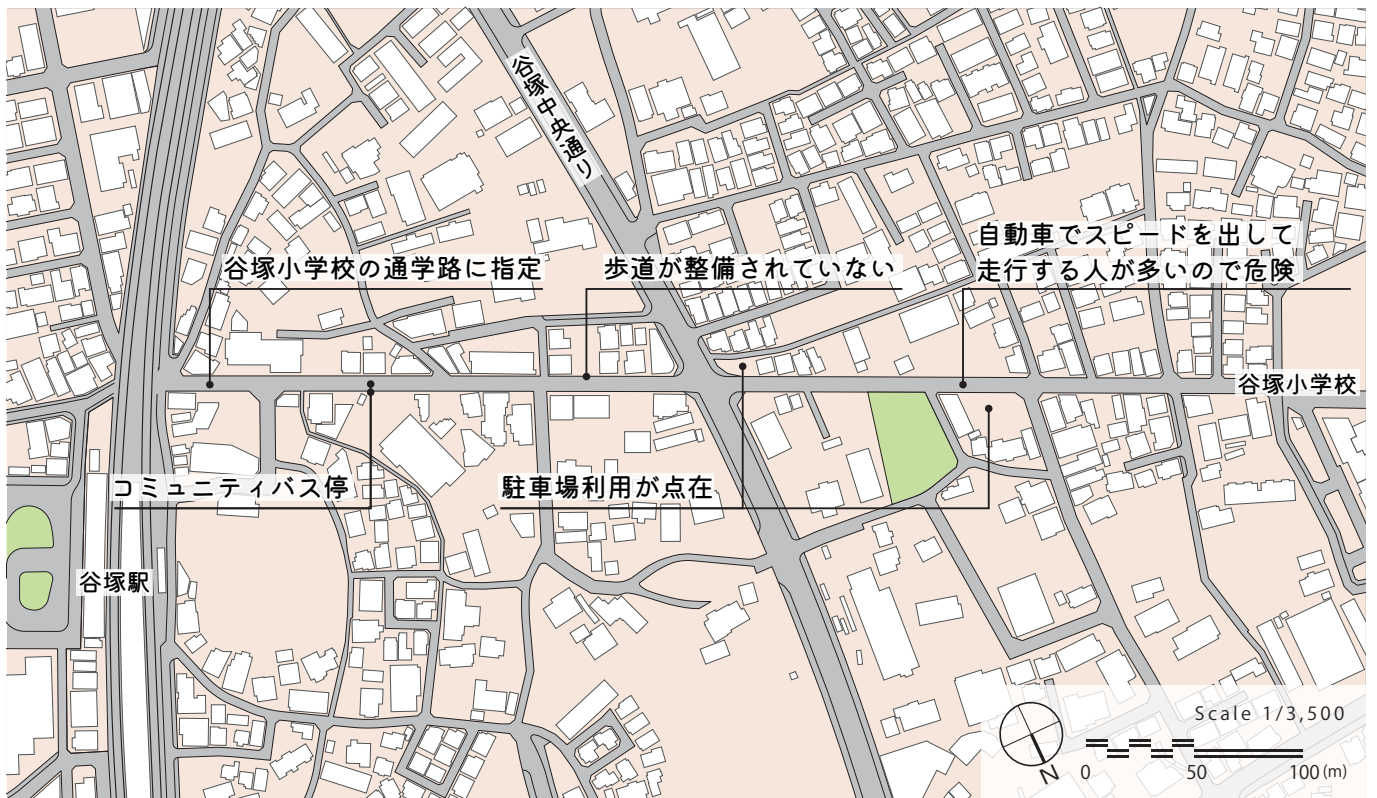


2 谷塚小学校通りの状況について

谷塚小学校通りは谷塚駅西口エリアと谷塚小学校を結ぶ通りであり、谷塚小学校の通学路にも指定されていますが、自動車の通過交通量が多い一方で歩道が整備されていません。また、谷塚西口商店会による店舗が並ぶエリアとなっていますが、駐車場利用や空き地が点在しており、土地の有効利用が図られていません。一方で季節のイベント等を地域で実施し、多くの人で賑わっています。

地域内の公共交通として、コミュニティバス「パリポリくんバス」の南西ルート（草加市立病院 - 見沼代親水公園駅行き）が運行しており、谷塚駅西口のバス停は谷塚小学校通り沿道に設置されています。

谷塚小学校通りエリア図



小学生の通学路となっている



歩行空間が狭く自動車の通過交通量が多い

令和7年度には地域の方や沿道の事業者の皆様を対象として、ワークショップを開催し、谷塚小学校通りの良いところ、より良くしたいところについて意見を頂きました。ワークショップで出された意見を紹介します。

谷塚小学校通りの良いところ、より良くしたいところ



3 ストリートデザインノートの策定

ストリートデザインノートの策定に当たっては、地域の方からのご意見を反映するためワークショップを4回および社会実験を1回開催いたしました。

ワークショップの実施

ストリートデザインノートの策定にあたり、「谷塚小学校通りストリートデザインワークショップ」を4回実施しました。地域の方や沿道の事業者の方を対象として、登下校時や買い物などの際に安心して通行できる道のあり方について多くのアイデアを頂きました。

7/17 (木) 第1回ワークショップ (22名参加)

まち歩き

谷塚小学校通りの「良いところ、より良くしたいところ」について

9/1 (月) 第2回ワークショップ (18名参加)

谷塚小学校通りを「こんな風に使いたい」について

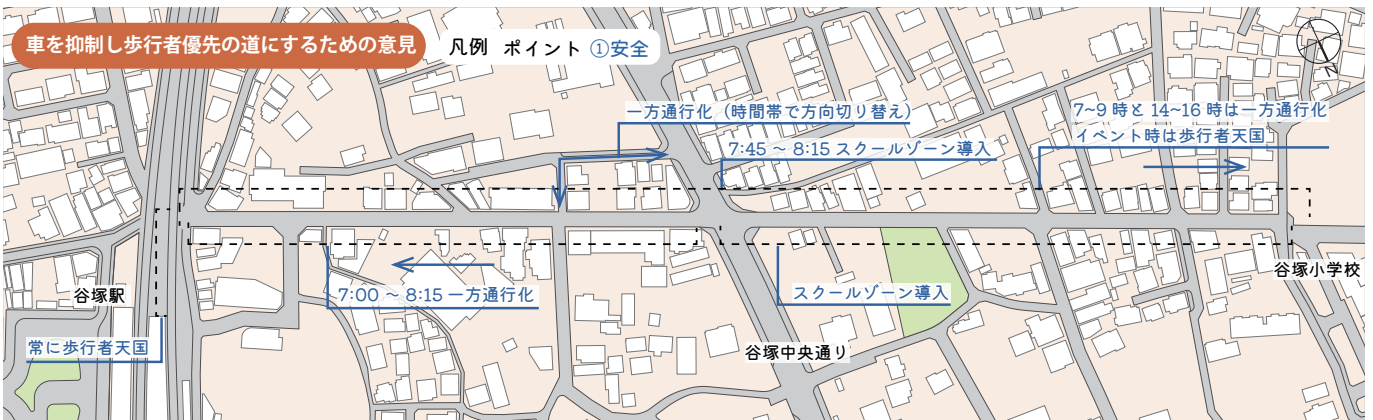
9/29 (月) 第3回ワークショップ (17名参加)

「車を抑制し歩行者優先の道に」するために

目指すべきストリートデザインのために

11/27(木) 第4回ワークショップ (12名参加)

谷塚小学校通りの「ストリートデザイン」について



社会実験の実施

谷塚小学校通りを安全に歩行できる仕掛けや活用を目的とした社会実験を実施しました。市では、車道を狭く見せスピードの抑制を図る路面標示の試験的な実施と、路面標示に関するアンケート、道路へのお絵かき体験、ベンチの設置を行いました。



アンケート実施風景



路面標示実施風景



お絵描き実施風景

第3回ワークショップにおいて「車を抑制し歩行者優先の道にするための意見」で出された路面標示のデザイン案について、社会実験および第4回ワークショップでアンケート調査を行いました。路面標示により、自動車の速度を抑制する他、側溝塗り足し案では歩行空間を広く見せる効果が期待できます。

アンケート調査結果

社会実験
得票数

参加者総数
288人

第4回WS
得票数

参加者総数
12人

他案と併用可能なため、ワークショップでは「側溝塗り足し案」とどれを組み合わせるか考えました。警察協議等を実施して、実現に向けて動いていきます！

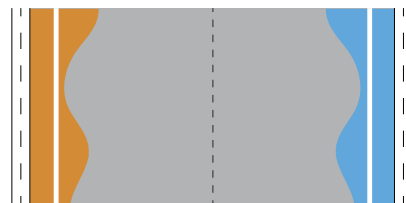
三角案



83票

2票

なみなみ案



86票

7票

側溝塗り足し案



62票

イラスト案



43票

2票

メッセージ案



14票

1票

上段の3案が特に得票数が多く、いずれも暖色が寒色を上回る得票数となりました。側溝塗り足し案の実施および三角案もしくはなみなみ案の実施を目指します。

※標示内容は変更、もしくは実施が難しい場合があります。

3 ストリートデザインノートの策定

社会実験の効果

社会実験の効果測定のために、通りの賑わい測定に適した人流データの取得を行いました。駅に近い観測地 A と谷塚中央通りに近い観測地 B の 2 地点において、通常の日曜日 (9/21) とイベント実施の日曜日 (10/19) で歩行者と自転車がどの方向からどれくらい通っているか調べました。



カメラ映像

観測地 A

調査日：2025/9/21(日) 通常時

	歩行者		自転車	
	A → B	B → A	A → B	B → A
10:00~	56	114	57	74
11:00~	50	122	69	87
12:00~	89	108	65	69
13:00~	80	100	52	57
14:00~	71	89	73	69
15:00~	105	74	57	68
16:00~17:00	121	103	76	61
計	572	710	449	485

調査日：2025/10/19(日) イベント時

	歩行者		自転車	
	A → B	B → A	A → B	B → A
10:00~	659	755 ※1	12	30
11:00~	488 ※2	599	27	41
12:00~	363	427	25	10
13:00~	440	436 ※2	22	17
14:00~	530 ※2	461	18	36
15:00~	389	386	23	9
16:00~17:00	372	492 ※3	19	21
計	3241	3556	146	164

観測地 B

調査日：2025/9/21(日) 通常時

	歩行者		自転車	
	A → B	B → A	A → B	B → A
10:00~	33	56	47	71
11:00~	23	58	55	65
12:00~	50	54	46	55
13:00~	48	60	44	49
14:00~	44	59	54	54
15:00~	47	37	56	49
16:00~17:00	66	54	69	47
計	311	378	371	390

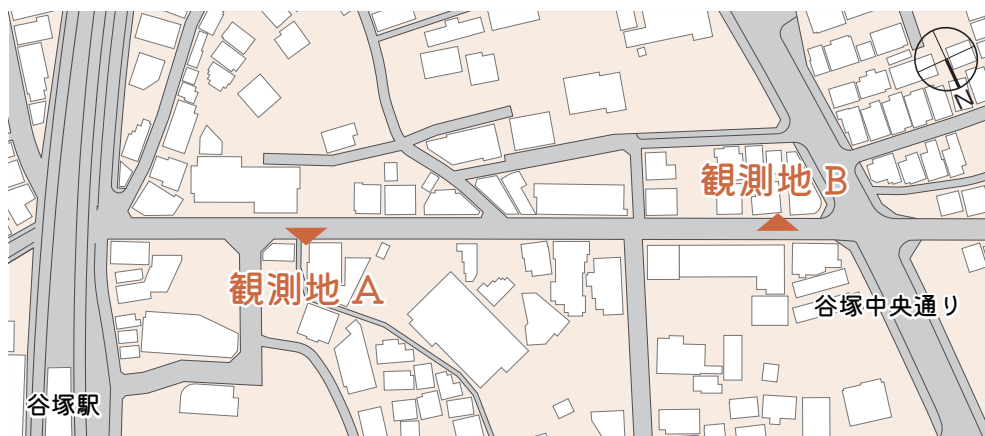
調査日：2025/10/19(日) イベント時

	歩行者		自転車	
	A → B	B → A	A → B	B → A
10:00~	625	551 ※1	35	67
11:00~	713 ※1	593	25	16
12:00~	377	524 ※2	16	14
13:00~	423	376	14	24
14:00~	530 ※2	570	13	25
15:00~	508	381	12	18
16:00~17:00	380	504 ※4	18	20
計	3556	3499	133	184

- ※ 1 お神輿 1 回、太鼓 1 回が通過
- ※ 2 お神輿 1 回が通過
- ※ 3 阿波踊りの演者他が撤収で通過
- ※ 4 阿波踊りが通過



カメラ



調査実施位置図

データの分析・考察

歩行者の増加

- 歩行者は、観測地 A 駅方面 で約 5.3 倍に増加
観測地 B 市街地方面 で約 10.2 倍に増加
- 車両交通規制による歩行環境の向上とイベントによる集客が要因

自転車の減少

- 自転車は、車両交通規制により全体で約 0.3 ~ 0.4 倍に減少

通行方向にみる特徴の変化

- 通行方向による通行量の差について、
通常時午前中は「市街地→駅」は「駅→市街地」の約 2.0 倍となり、
駅に向かう人が多いことが読み取れる！
一方で、イベント時午前中は「市街地→駅」は「駅→市街地」の約 1.1 倍となり、
駅に向かう人と同様に市街地へ向かう人も多くなった！
- スタンプラリー等の企画により駅に向かうためだけの通過ではなく、
通りを巡り歩く人が増えた = 街の回遊性が向上した！

色凡例 (歩行者) 色凡例 (自転車)

~100
101~200
201~300
301~400
401~500
501~

~15
16~30
31~45
46~60
61~75
76~

4 ストリートデザインのコンセプトと施策

全体コンセプト

小学校側に夕陽が落ちて通りがオレンジに染まることや商店会のフラッグの色等から「谷塚オレンジロード」を全体コンセプトとし、谷塚中央通りを境にそれぞれコンセプトを設定しました。

小学校側

子どもがすくすく育つ 谷塚オレンジロード

小学校や公園予定地がある小学校側は、子どもを中心にみんなが安全に通れる道を目指します

駅側

みんなでわいわい集まる 谷塚オレンジロード

小学校側と同様に安全に通れる道を目指すとともに、お店が多くある駅側は、子どもから大人までみんなが思い思いに過ごせる道を目指します

ストリートデザインのポイント

【ポイント 1 安全】車を抑制し歩行者優先の道に

- ・時間帯による交通規制（一方通行規制）を行い安全な道に
- ・路面標示により車のスピードを抑制し安全な道に
- ・舗装仕上げにより歩行者空間が広く見える道に



【ポイント 2 賑わい】多世代の交流が生まれる道に

- ・空き地や駐車場を積極的に活用する道に
- ・公園予定地を一体的に活用し交流が生まれる道に
- ・お祭りやイベントでは歩行者天国として多世代で賑わう道に



【ポイント 3 憩い】ホッと一息つける道に

- ・空き地や駐車場、軒下にベンチを設置して休憩できる道に
- ・軒下や木陰で休憩できる道に
- ・サンシェードの設置により夏季でも休憩できる道に
- ・壁面後退により歩行者の通行環境が良い道に



【ポイント 4 回遊性】通りを巡る仕掛けのある道に

- ・公園予定地にサイクルポートを設置して回遊性の高い道に
- ・イベントでは沿道店舗でスタンプラリーを実施し、巡る楽しみのある道に



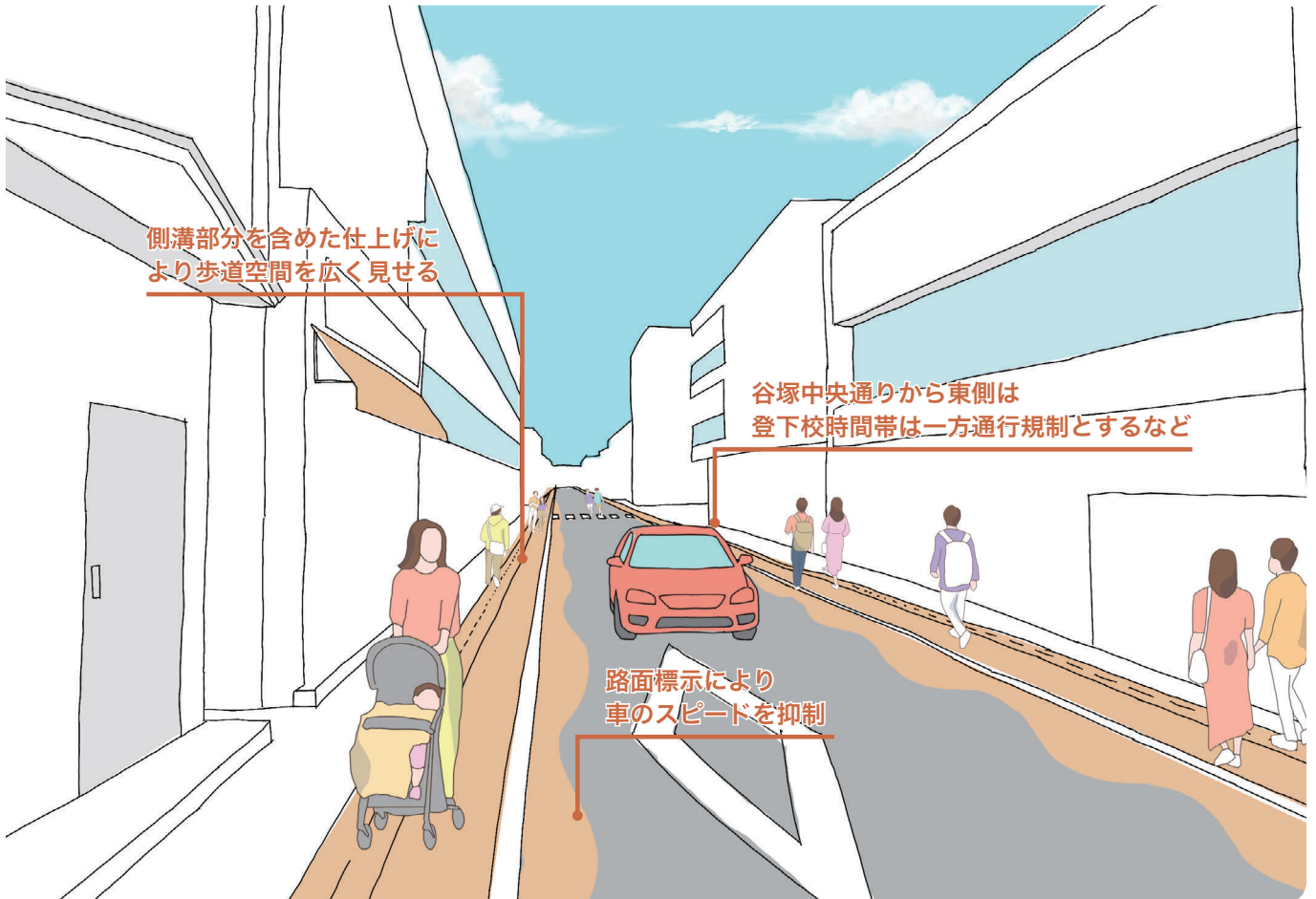
【ポイント 5 景観】既存のまちなみを活かした谷塚らしい道に

- ・沿道店舗や通りの歴史を示したサインを設置し、谷塚らしさを残すと共に、誰もが目的地に辿り着く分かりやすい道に
- ・イルミネーションにより魅力的な景観を生み、通りの雰囲気良くすると共に、明るく安全で居心地の良い道に



【ポイント 1 安全】車を抑制し歩行者優先の道に

子どもから高齢者までみんなが安全に通れる道にするために、交通規制や路面標示を検討します。



※路面標示のデザイン（色・形状等）はイメージです。

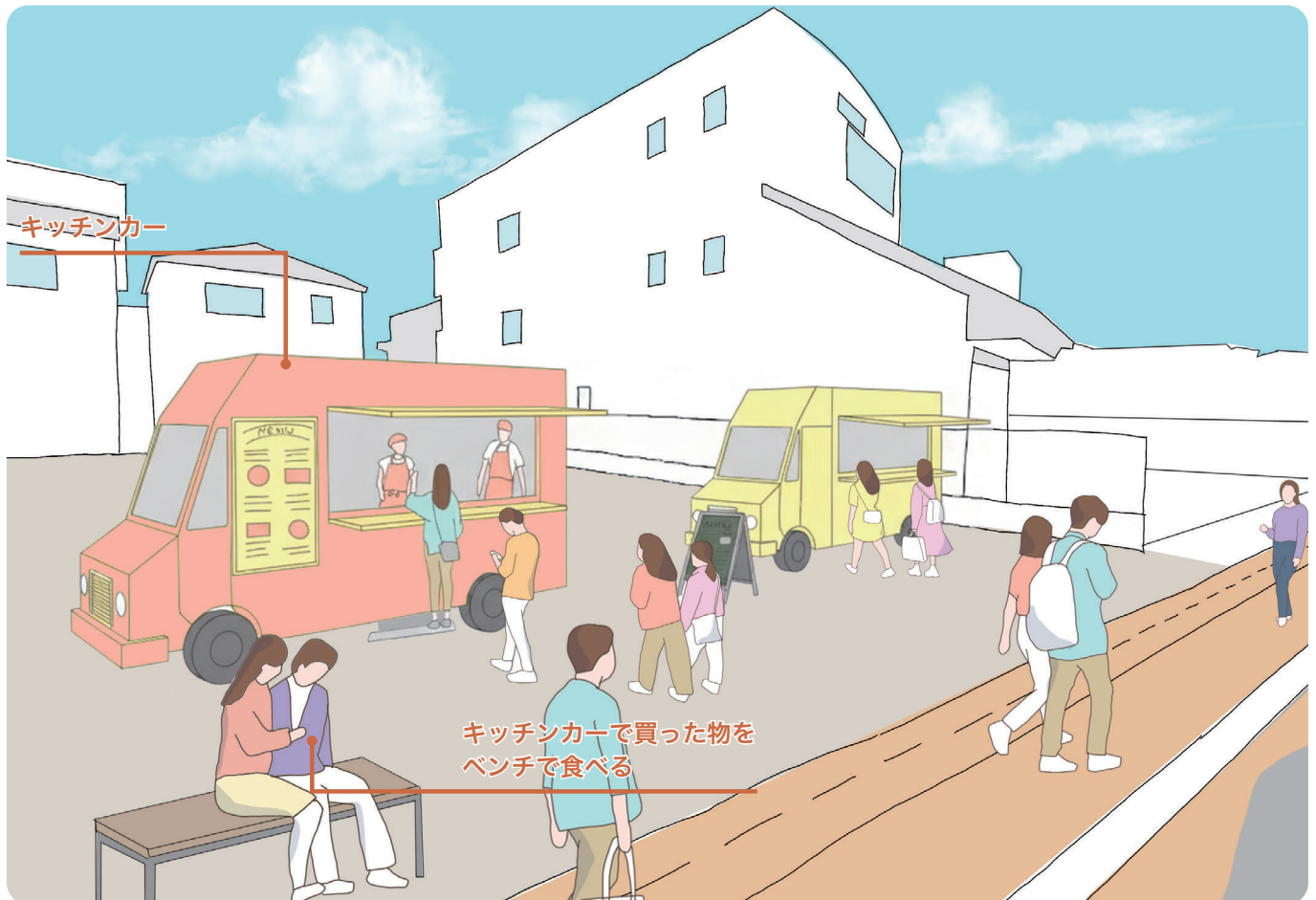
未来のストリートシーン



4 ストリートデザインのコンセプトと施策

【ポイント 2 賑わい】 多世代の交流が生まれる道に

通りでお茶をしたり、食べ物をテイクアウトして食べたり、遊べる賑わい空間を増やします。

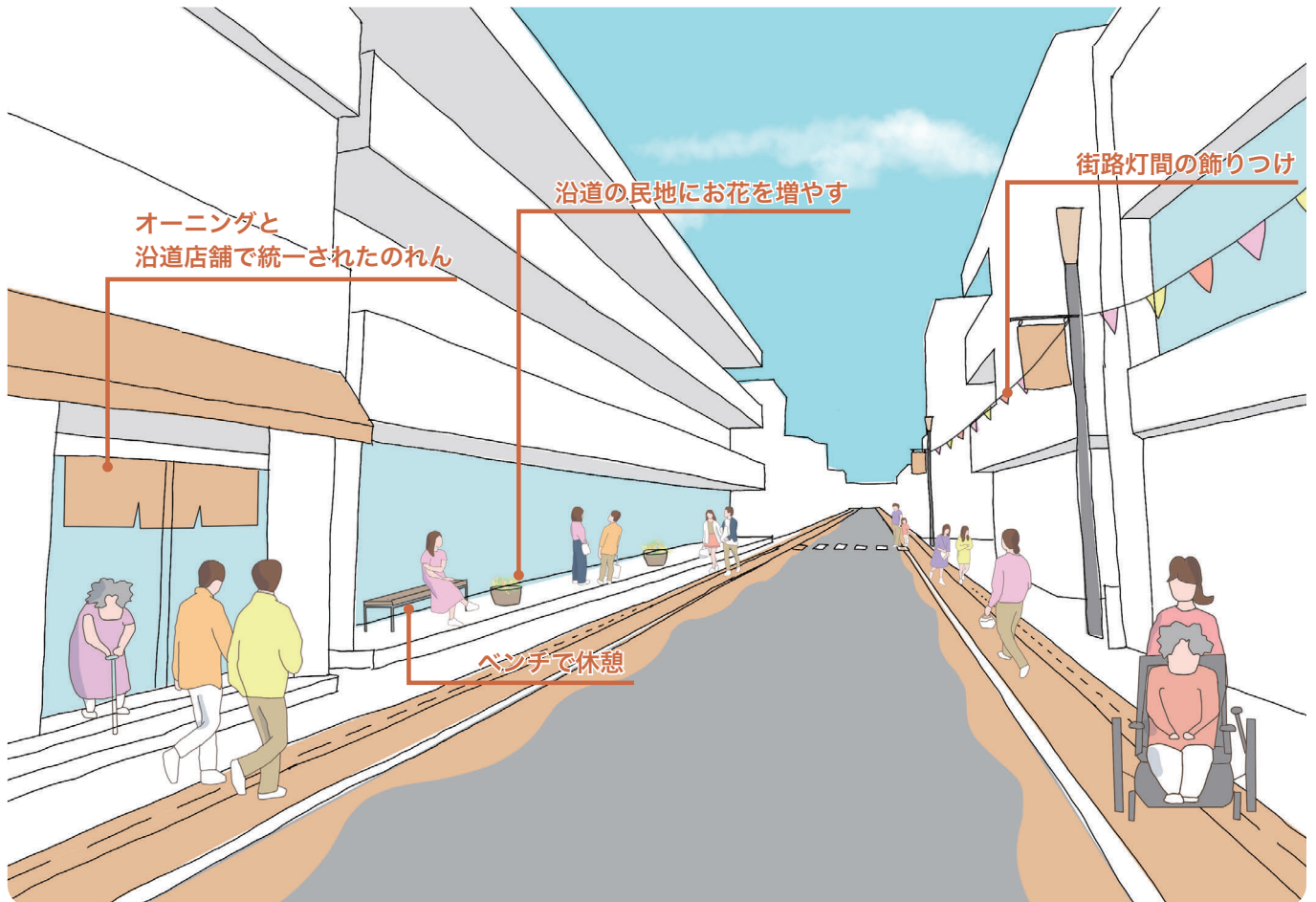


未来のストリートシーン

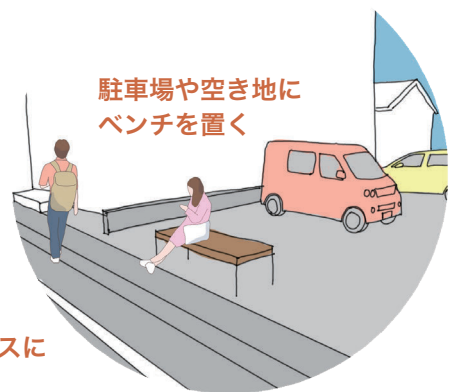


【ポイント 3 憩い】 ホットと一息つける道に

散歩途中の休憩や学校帰りのおしゃべり、バスを待ちながら休める通りとします。



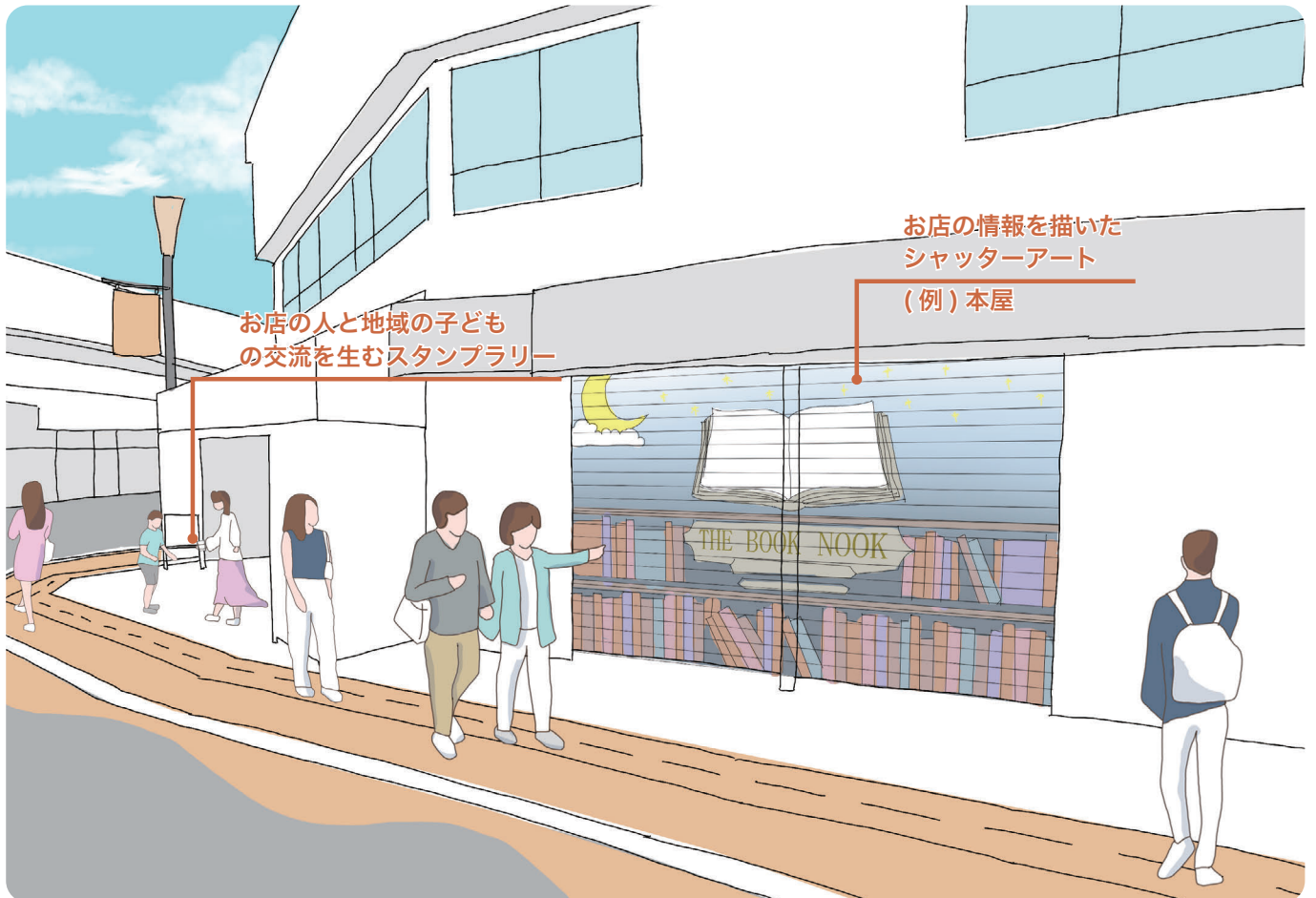
未来のストリートシーン



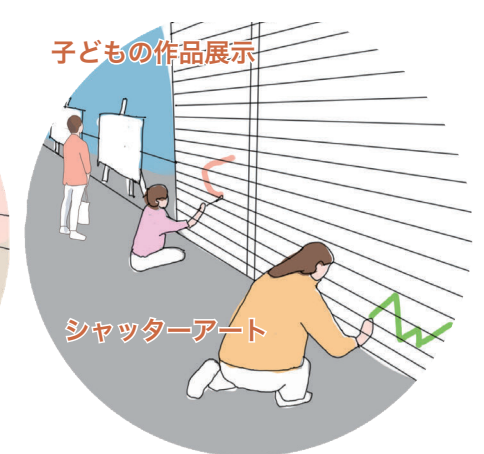
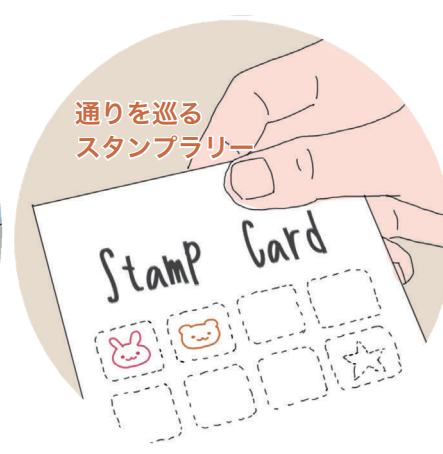
4 ストリートデザインのコンセプトと施策

【ポイント4 回遊性】 通りを巡る仕掛けのある道に

シャッターアートやスタンプラリーで通りの魅力を高めて歩いて楽しくなる通りとします。

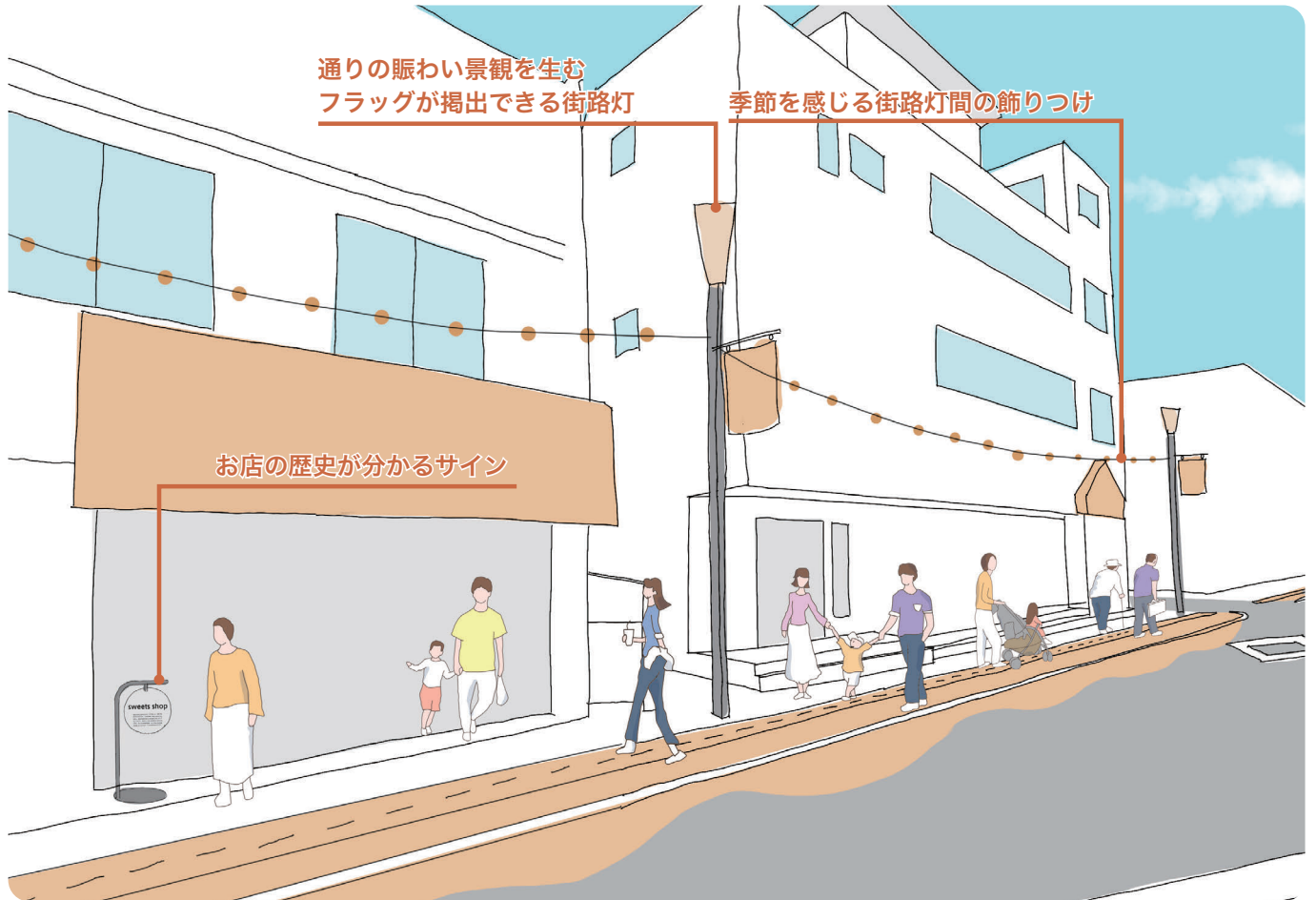


未来のストリートシーン



【ポイント5 景観】 既存のまちなみを活かした谷塚らしい道に

街路灯のフラッグや通りの店舗の歴史サイン等により谷塚らしさを感じられる通りとします。



未来のストリートシーン

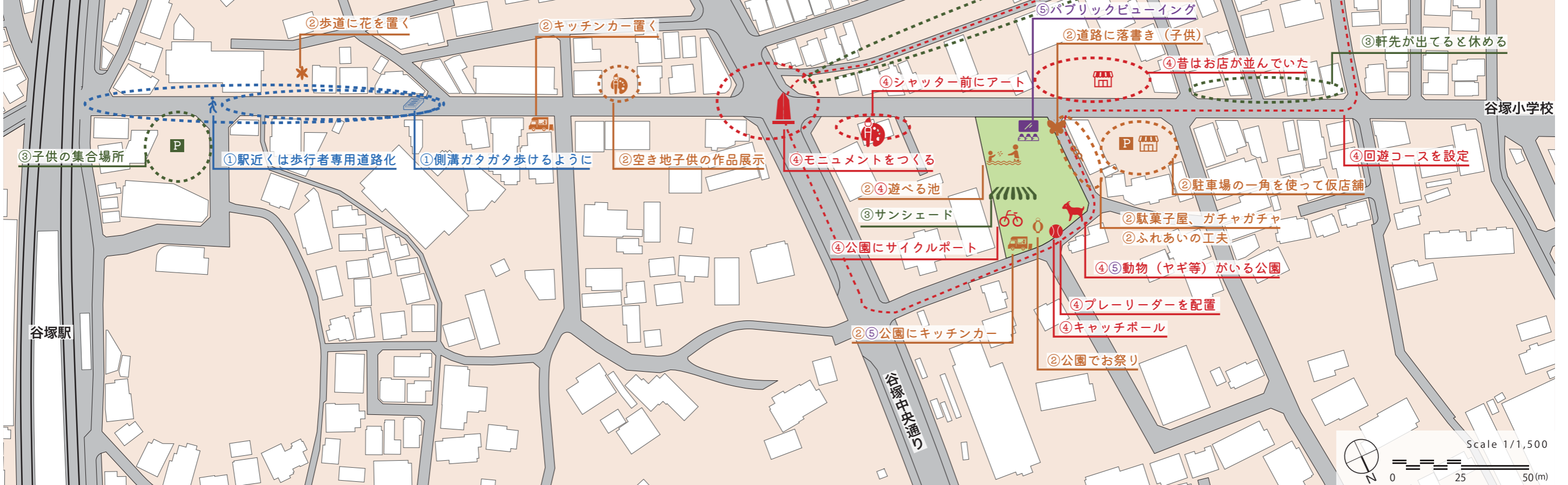


5 ストリートデザインのアイデア

ワークショップ参加者からポイントに基づいて頂いたアイデアを示した図です。
地域住民・行政・事業者がそれぞれ実施できることから実現していくことを目指します。

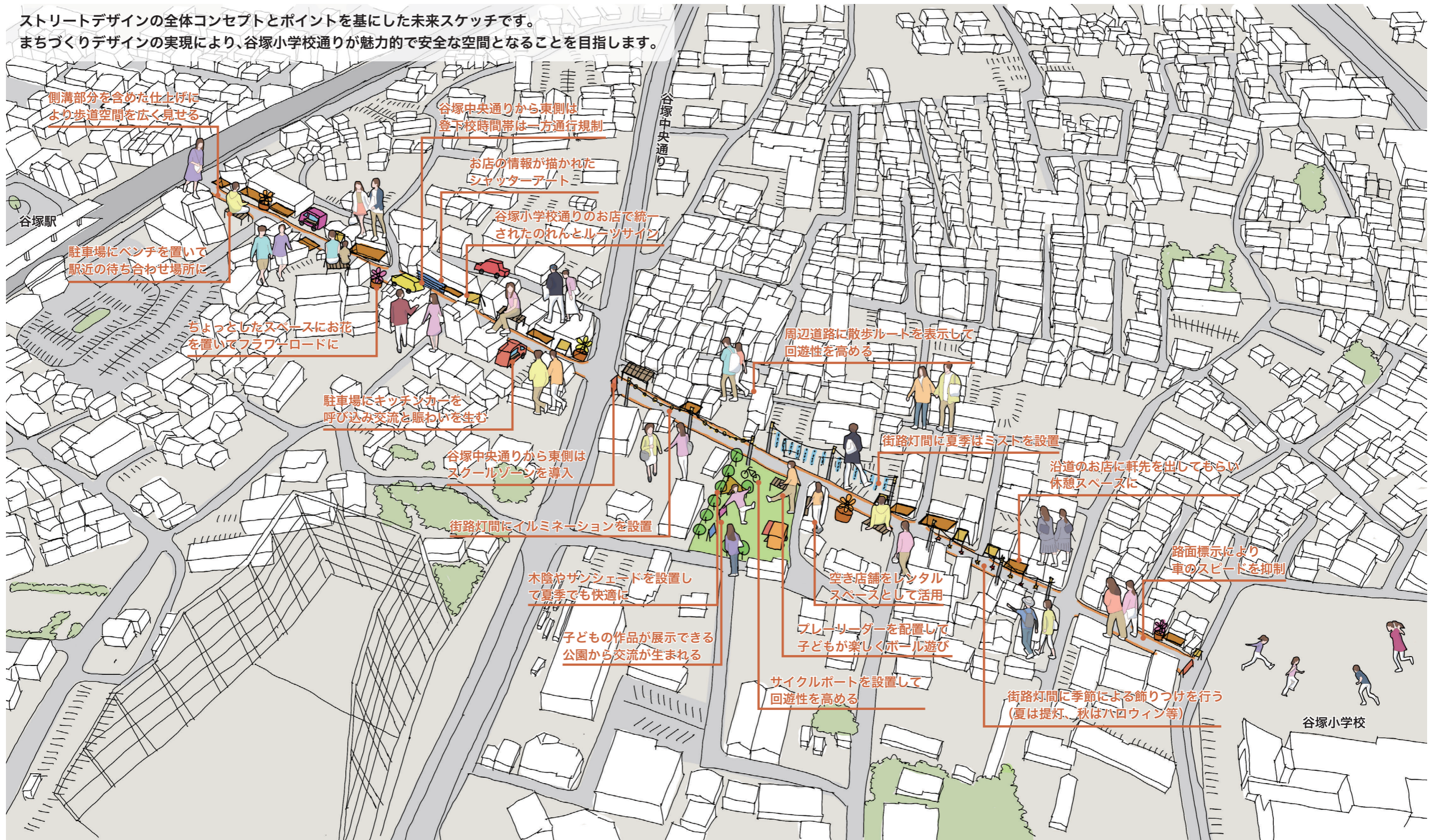
凡例 ①安全 ②賑わい ③憩い ④回遊性 ⑤景観

- 🕒 ①時間帯で交通規制
- 🚦 ①一方通行の規制
- 🚶 ①歩道に色をつける
- 🐾 ①道路に動物の絵や言葉を描く
- 🎪 ②お祭りイベント
- 📶 ②WiFi、コンセント
- 💡 ②街路灯とフラッグを新しく
- 🏠 ④魅力的なお店を増やす
- 🚶 ④統一されたのれん
- 🚶 ④散歩コースの可視化
- 🚶 ④AED、消火栓をわかりやすく
- 🏠 ④街の顔を見える化（情報発信）
- 👉 ④スタンプラリー
- 🗺️ ④おすすめどころマップ
- ☕ ③ママ友と集まれる場所（カフェ）
- 🌳 ③木陰が定期的にあると良い
- 🌞 ③④⑤暑い日の休憩場所、レンタルカフェ、ベンチ、日陰
- 💡 ⑤イルミネーション
- 🗺️ ⑤交流スペース
- 🏠 ⑤お店のルーツをサインで表現
- 🌫️ ⑤街路灯間にミスト等の工夫



6 未来スケッチ

ストリートデザインの全体コンセプトとポイントを基にした未来スケッチです。
まちづくりデザインの実現により、谷塚小学校通りが魅力的で安全な空間となることを目指します。



7 ストリートデザインを考慮した指針

■ 車道空間

車道は交通量が多くスピードを出す車も多いため、自動車のスピードを抑制する路面標示を検討します。



谷塚小学校通り（社会実験時）

■ 歩道（路肩）空間

歩道（路肩）は狭く、歩行者が安全に通行するための幅員としては不十分なため、側溝部も含めた一体的なデザインを検討します。



※路面標示のデザイン（色・形状等）はイメージです。

谷塚小学校通り（フォトモンタージュ）

■ 照明デザイン

照明は機能的であるとともに、夜間景観を演出する重要な要素です。街路灯は、通りの統一感を演出するため、バナーやフラッグを掲示できるものとし、通りが主役となるようシンプルなデザインとします。



神楽坂通り

■ 沿道空間

安全な歩行空間を作るとともに賑わいを創出するため、建替え時に壁面後退するなど屋内外で一体的な利用ができるような工夫を目指します。店舗が連なるストリートとして、それぞれの個性がにじみ出た軒先空間の活用（ベンチやプランターの設置等）を図ります。



京都市

■ サイン・バナー・広告物

広告物は、通りの界索性や低層部の街並み景観の魅力、にぎわいを形成する重要な要素です。必要最小限の規模、配置とし、周辺の街並みと調和したデザインを目指します。



谷塚小学校通り パンリール

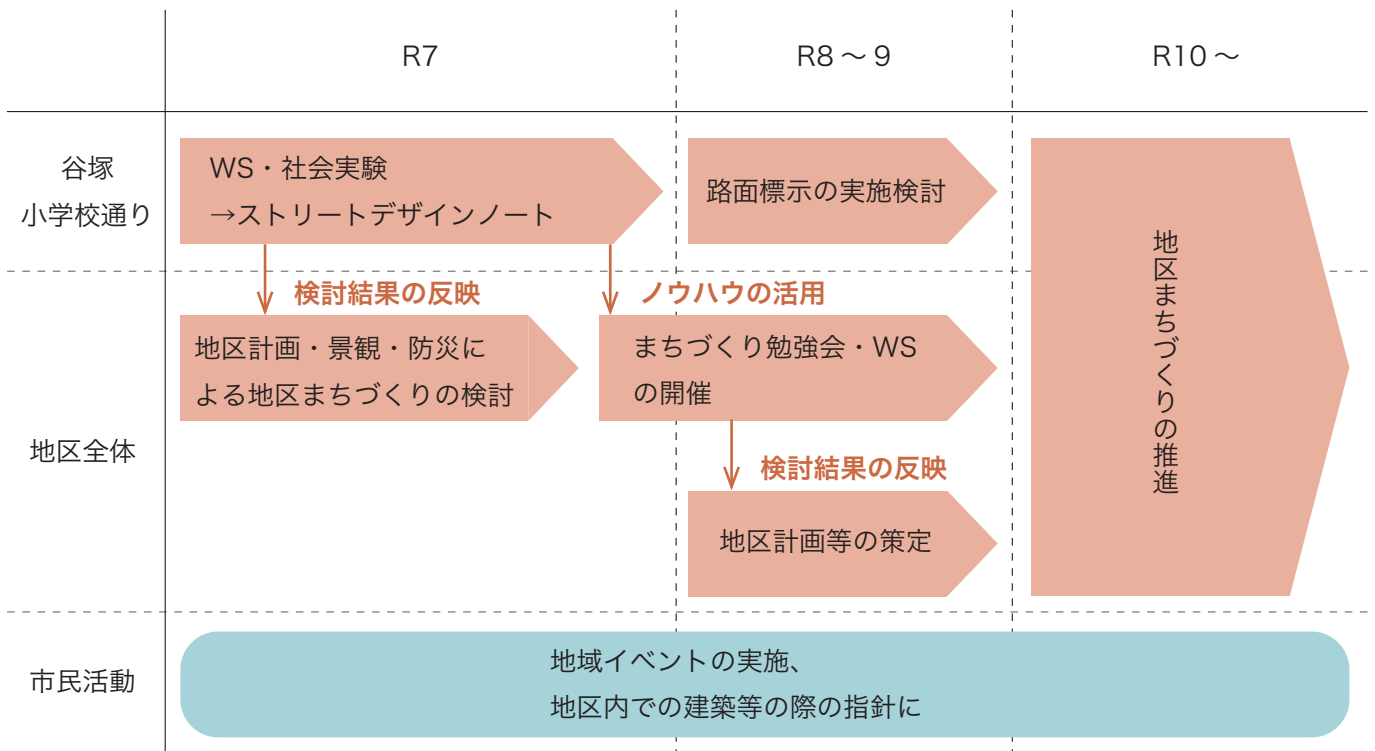
8 ストリートデザインノートの活用と効果

ストリートデザインノートの活用

ストリートデザインノートは今後の市の事業などの参考にすると共に、まちで活動を展開する皆さんのアイデアブックとしても活用されることを期待します。市の事業への展開として、本ノートに描かれている路面標示については、令和8年度実施に向けて検討を進めます。また、壁面位置の制限や建築物の意匠に関わる意見等は、令和7年度より勉強会を重ねている、谷塚駅西口地区地区計画（仮称）の検討において反映していきます。

本ノートに描かれているデザインは、公共空間である通りだけでなく民地のあり方や照明デザインなど多岐に渡ります。通りを利用する人の目線で安全な空間、使い勝手や居心地が良い空間、賑わいが創出される空間の実現には、地域の方の主体的な関わりが不可欠です。その上で、市民-事業者・関係機関-行政など多様な主体が連携・協力し、継続的に取組を進めることが重要です。

今後、地域の中で谷塚小学校通りの在り方や活用方法を考える際に、このノートがその一助となることを望みます。



※進捗によってスケジュールや事業内容は変更となる場合がございます。
谷塚駅西口地区まちづくり基本計画短中期のロードマップより一部抜粋

ストリートデザイン実現時に期待される効果

ストリートデザインの実現に当たっては下記の効果が期待されます。

①交通・安全性に関する効果

- **道路における歩行者と車両のすみ分け推進**：歩行者にとって通行しやすく、車両についても適切な進行を促す効果が期待できる「一方通行規制」や「時間帯による交通規制」の検討を進めます。また、イベント開催時には一時的な交通規制を活用することで来街者が安心して楽しむことができる通りが実現します。

②商業・経済的な効果

- **歩行者増加による賑わいの創出**：歩行者が安心して行き交えるようになり、まち全体が賑やかになります。
- **店舗売り上げの向上**：交通規制された街路に面した店舗は、歩行者の増加によって売り上げが伸びることが期待されます。
- **回遊性の向上**：人々がまちなかをゆったりと回遊しやすくなり、買い物客の滞在時間増加につながります。

草加市 谷塚小学校通り ストリートデザインノート

令和8年3月

発行：草加市 都市整備部 都市計画課

〒340-8550 埼玉県草加市高砂1丁目1番1号

TEL:048-922-1802 FAX:048-922-3148

